

岩手県職労

号外

昭和34年4月1日

第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県庁内

No.2306

2014年

10月24日

知事あて「大型ハ
ガキ」管理職・臨
時職員等、職場内
の全職員で要求
を押し上げてい
こう！

14 確定闘争情報 - ② 職場

独自課題の改善へ県職労交渉を実施

職場改善や人員要求等を求める県職労独自要求書を提出

県職労は23日、熊谷人事課総括課長に対して独自課題にかかる要求書を提出し、確定期の交渉を行った。

交渉で熊谷総括課長は、現給保障の廃止について、地公共闘での交渉同様に廃止の方向で検討する姿勢を示したことから、県職労は、大幅な賃金カットと同様だと追及し、再考を求めた。

また、独自課題として、最高号給到達者の処遇、人員の確保対策に加え、被災地域において仮設住宅の整理計画に伴う職員の引っ越しにかかる費用の捻出や、東北油化操業停止に伴う獣医師の過重労働の実態から、獣医師の増員や処遇改善を求めるなど、職場オルグ等での組合員からの要求課題についても、当局に改善を求めた。

県職労は、独自課題の改善を求め、次回11月4日に再度熊谷課長との交渉に臨む。



熊谷総括課長(左)に要求書を手交する平中委員長(右)

○ 現給保障廃止

《県 職 労》廃止に伴う職員への影響は非常に大きい。継続支給を求める。

【熊谷課長】2011年の人事委員会報告で現給保障の廃止について触れられて以降、毎年「報告」として触れられてきたが、今年は、今年度末での廃止が「勧告」された。人事委員会の判断について重く受け止めながら検討を行っているところ。

《県 職 労》知事部局における適用者の状況はどうなっているか。

【熊谷課長】本年4月1日時点で360人程度が対象。平均額は9,400円程度であり行政職では27,000円程度となっている。

《県 職 労》大幅な賃金カットと同様の措置であり、再考を求める。

○ 通勤手当

《県 職 労》「改定の必要性の検討が必要」とした県人勸「報告」を踏まえた検討状況は？

【熊谷課長】ガソリン価格が高い水準で推移していることは承知。人事委員会の報告も踏まえながら、改定の必要性について検討しているところ。

○ 最高号給到達者の処遇

《県 職 労》最高号給者の割合が依然として高い。解消に向けた対策をどう考えているか。

【熊谷課長】特に行政職5級の最高号給者が、在級者の半数弱となっていること等については、職員の勤務意欲や組織パフォーマンスの観点から課題意識を持っており、引き続き検討をしていく。

○ 人員の確保

《県 職 労》現在の欠員状況は？

【熊谷課長】10月1日時点で欠員数は93人。うち9人は再任用短時間勤務職員を配置済みであり、実質的な欠員は84人。10月に前倒し採用も行ってきたが、4月以降の退職者もあり年度当初より欠員数が増えている状況。

《県 職 労》解消策をどう講じていく考えか。

【熊谷課長】人員の財源が不足し、すぐに対応できる状況ではないが、来年度の採用を、今年度を上回る166人を予定するほか、引き続き任期付職員の採用も行う。11月1日付での前倒し採用も予定している。

《県 職 労》任期満了の任期付職員について5年までの延長更新について昨年確認したが、該当職員の更新希望等の状況はどうなっているか。

【熊谷課長】5月上旬から、対象となる職員に所属長を通じて周知を行い、8月末時点では58人から更新希望の意向が示されている。更新対象者には今月上旬に所属から通知している。

○ 職場の課題と現状

《県 職 労》被災地において、仮設住宅に住まざるを得ない職員が大勢いるが、市町村等の仮設住宅の整理(廃止)計画が示され、移転を求められていると聞く。県として居住場所を指定しているものであり、引っ越しに係る移転料等は県として負担すべきと考えるがどうか。

【熊谷課長】人事異動を理由とする移転ではないが、どのように対応できるか、関係課において考えているところ。適切な対応となるよう検討していく。

《県 職 労》東北油化の操業停止に伴い、県南家保の獣医師を中心に昼夜・休日を問わず対策にあたっている。これまでも口蹄疫や鳥インフル等、獣医師は突発的かつ緊急的業務が多く、獣医師の人員確保・労働条件改善を検討すべきと考える。

【熊谷課長】初任給調整手当の改善など、これまでも獣医師の確保に向けて改善に取り組んできているが、人材確保が困難であり苦労している。獣医師の確保は重要な課題であり、引き続き検討していく。